



神さまの守りの中で
のびのび育つ子どもたち



宗教法人日本キリスト教団片瀬教会付属
片瀬のぞみ幼稚園
Katase Nozomi Kindergarten

片瀬のぞみだより
2018年12月号
家庭通信 2018 No.

12月主題聖句

「ユダヤの王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。
わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」

マタイによる福音書 2章 2節

牧師（設置者）磯部理一郎

片瀬のぞみ幼稚園の皆さん、いよいよ楽しい「クリスマス」を迎えます。昨年も、ご紹介しましたように、「クリスマス」(Christmas)とは、「Christ キリストの」+「Mass ミサ」という複合語で、「イエス・キリストのご降誕を祝う礼拝」を意味します。イエス・キリストは、歴史的には B. C. (Before Christ 紀元前) 7～B. C. 4年の間に、ベツレヘムでお生まれになった、とされており、詳細には特定されておられません。キリスト教会では、4世紀頃から「クリスマス」(キリスト降誕礼拝)として、12月25日に定められ、キリスト教三大礼拝(クリスマス：降誕礼拝・イースター：復活礼拝・ペンテコステ：聖霊降臨礼拝)の一つとなっています。

世界のキリスト教会は、12月25日を迎える4週間前の日曜日から、今年は12月2日から、「待降節」(アドベント advent: 神が～に到来する)に入り、第1主日～第4主日と進み、神さまの独り子イエス・キリストのご降誕をお迎えする「準備と祈りの季節」となります。「待降節」に入ると、主の日(日曜日)を迎えるごとに、蠟燭を一本ずつ灯してゆき、4本目の蠟燭が灯される第4週目の、12月25日に、御子イエス・キリストのご降誕をお祝いする「クリスマス」を迎えます。御子のご降誕を迎える前の4週間は、御子を迎えるにふさわしい「備えと祈り」の時として用いられ、世界中の人々は、罪を悔い改めて、感謝と喜びの祈りを深めてゆきます。「齋戒」(ものいみ：物忌み)と言って、禁酒はもとより、断食をしたり、

特別な献金を捧げて、クリスマスに備える教会も世界には少なくありません。戦後の日本は、そうしたアメリカのプロテスタント諸教会による特別な献金でさまざまな支援を受け、今日がある、と言っても過言ではありません。

また「クリスマス・イブ」は、Christmas と Evening (even 夕暮れ+ing~になる) から成る複合語で、文字通り「クリスマスになる日没」を意味します。イエス時代の暦は「太陰暦」が用いられており、太陽が沈んだ日没に代わって月が現れると、新しい一日が始まる、とされていました。旧約聖書の創世記1章に記される万物創造も、「地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。」

(創世記1章2節)とあり、万物創造は「闇」から始まりました。一日の始まりは、「闇」である夜(日没)から始まり、「神は言われた。<光あれ。>」(創世記1章3節)と記され、夜から昼へと展開します。こうした背景から、25日のクリスマスは、24日の日没に始まり、25日の真夜中を経て、25日の夜明けへと導かれます。こうしてイブ(前夜祭)という概念が定着したようです。

まさにクリスマス礼拝は、荘厳な鐘の響きと共に、12月24日日没から始まり、真夜中を経て、夜明けに至り、世界はついに神の御子をこの地上に迎えます。クリスマス礼拝は24日夜から、真夜中を経て、夜明けに至るまで、実は「3重」に、御子のご降誕をお祝いします。最初には、日没に、父・子・聖霊の三位一体の神の中で「子なる神」が永遠に誕生したことを覚え、御子の永遠の誕生を祝います。次いで真夜中になると、永遠の神の御子が、聖霊により天より地に降り、処女マリアの胎内に宿り、ついに神の子は人となり、民を罪から救う「神のメシア」として誕生したことを盛大に祝います。神の御子が人として受肉し、地上に到来したことを告げ知らされます。人として地上に到来した神の御子は、「イエス」と名付けられ、ギリシャ語で「キリスト」ヘブライ語で「メシア」(救い主)としての使命を担います。まさに神の御子は「イエス」と名付けられた「メシア(キリスト)救い主」として生まれたのです。こうして夜明けを迎えると、世界は神のメシアの到来を迎えることにより、世界もまた新たに生まれ変わった喜びを祝い、人々はそれぞれ新たに生まれ変わった希望と喜びに溢れて帰途につき、家族は皆一つに集い、温かく希望の光に溢れるクリスマスを家庭で過ごします。こうして降誕は三重の新生となります。

日本のプロテスタント教会でのクリスマス礼拝は、イブ礼拝を24日夜に、25日迎える直前の《日曜日》に守る場合が多く、片瀬教会もクリスマス礼拝を25日迎える直前の日曜日、今年も23日の午前10時30分に守り、昼食とクリスマス・コンサートをもって祝います。またあわせて、教会学校クリスマス礼拝と祝いを前日24日(月)午後2時~4時に、クリスマス・イブ燭火礼拝を同日24日午後6~7時に守り、ご降誕をお祝いする予定です。

聖書によれば、クリスマスには、東方の3博士が登場します。ユダヤの宗教の中心に、東方という異文化の人々が、クリスマスの出来事を指し示すという重要な役割を果たしています。ユダヤ教からキリスト教への展開は、外国の、特殊な宗教か

ら、神さまはそれを大きく打ち破り、暗闇の中にある《万民》のために、希望と命と愛を光照らしました。キリストを通して、人類は罪を赦し合い隣人のために力を尽くす愛を知り、地上の世を超えて、尊厳豊かに、《永遠の命》を生きることを知ったのです。そればかりか、永遠の命の尊厳を尽くして、愛と希望に生きる世界が新しくここに誕生したのです。東方の3博士は、そうした新しい人類の歴史を背負う幕開けとして登場したのではないのでしょうか。片瀬のぞみ幼稚園のこどもたちは、そして世界のすべてのこどもたちも、今まさに、新しい歴史を担い、今ここに、クリスマスを迎えようとしています。その未来と大きな働きの上に、神さまの豊かな祝福とご加護を祈らずにはおられません。